

地 域 密 着 型 金 融 推 進 計 画

～地域の課題解決と持続的発展をめざして～
(平成26年3月までの進捗状況)



平成25年度 地域密着型金融推進計画

I. 基本方針

当金庫では地域社会の活性化、地域の持続的発展に貢献していくため、地域密着型金融推進計画を恒久的な重点課題として取り組んでおります。こうした中、個人を含めた地域のお客さまの課題解決に、より一層努めていくため、前年度計画の進捗内容をもとに地域密着型金融のあり方を再点検したうえで、信用金庫が持つ「つなぐ力」を更に深化させ、利用者重視と地域貢献に軸足をおいた業務展開を引き続き行うこととしております。

本年度も、下記の推進計画を積極的に取り組んでいく所存でありますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

II. 地域密着型金融推進計画の概要

1. ライフステージ等に応じた取引先企業の支援
2. コンサルティング機能の強化
3. 地域の面的再生への積極的な参画
4. 地域貢献活動（環境問題への対応、金融経済教育の推進、創立90周年地域貢献継続事業）

III. 地域密着型金融推進計画の基礎となる態勢

1. コンプライアンス態勢
2. 顧客保護態勢
3. 金融円滑化態勢

地域密着型金融推進計画

1. ライフステージ等に応じた取引先企業の支援

(1) 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
創業・新事業に関する情報や金融支援などきめ細やかな対応をしていく。	- 創業・新事業の展開を考えている又は、必要な取引先に対して、外部機関を積極的に活用し、必要な知識、ノウハウ等の支援を行う。 - 創業・新事業に対する金融支援についても積極的に対応していく。また、各種ファンドを積極的に活用した助成支援も行っていく。 (目標数値) - 創業・新事業への融資支援 10 先 50 百万円 - 創業・新事業に対する助成支援 北海道しんきん地域活性投資事業有限責任組合 1 先	(独)中小企業基盤整備機構 (産学官連携支援事業) - 北海道経済産業局 (ビジネス創造等支援事業) - 北海道日高振興局 (包括連携協定事業)	- 食加研・道工業試験場による製品開発や製品の高付加価値化を支援するため食品加工技術やパッケージデザイン等に関する総合相談会を開催した。 - 地域おこし相談会 4 社 - 創業や新事業への展開を考えている先へ、積極的なアプローチを展開した。 (実績数値) - 創業・新事業への融資支援 3 先 402 百万円 - 創業・新事業に対する助成支援 「地域需要創造型起業・創業」補助金事業(北海道中小企業総合支援センター) 5 先 23 百万円

(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
- 成長段階における企業の事業拡大に向けたビジネスマッチング支援や各種セミナーの開催による情報提供を行う。 - 事業拡大等に向けた資金需要に対応するため、事業価値を見極める融資手法(不動産担保や個人保証に過度に依存しない融	- 技術面やマーケティング等の情報提供を「日高振興局との包括連携事業」等により行っていく。 - 全国信用金庫協会が制定した「ビジネスマッチング」の活用。各種関係機関の開催する「商談会」等の情報発信、参加に向けたサポートを行う。 - 引き続き担保・第三者保証不要の融資商品および流動資産担保融資(ABL)を積極的に推進していく。	- 全国信用金庫協会 - 信金中央金庫 (独)中小企業基盤整備機構 - 北海道経済産業局 (ビジネス創造等支援事業) - 北海道日高振興局 (包括連携協定事業)	- 日高振興局との包括連携事業として「日高産品取引商談会」を 25.9.25 に開催。 参加企業：17 事業者 商談成立：5 件 商談継続：21 件 「日高観光セミナー」を 26.3.4 に開催。

資)を積極的に活用していく。			参加者：８０名弱 ・全国信用金庫協会から提供される「ビジネスマッチング情報」を営業店経由で、顧客への周知と情報提供を行った。 ・流動資産担保融資（ABL）融資実績 １件、１百万円
(３) 経営改善が必要な企業への支援			
取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
・長年の取引の中で培ってきた信頼関係に基づく安定した取引関係を継続し、質の高いモニタリングを通じて、早期に取引先の課題を共有し、経営課題の改善・解決についての提案・支援を積極的に推進する。	・ビジネスマッチングや技術開発支援により新たな販路の獲得を支援。 ・経営改善計画策定の提案・支援を行う。 ・経営改善支援機能の補完として、ビジネス創造等支援事業のほか中小企業診断士、税理士等の外部専門家の知見の活用。 ・ひだかしんきん地域支援ネットワークほかネットワークの積極的な活用を行う。 (目標数値) ・外部専門家の知見活用 １５先 ・各ネットワークの活用 １５先	・信金中央金庫 ・(社)中小企業診断協会 ・北海道経済産業局 (ビジネス創造等支援事業) ・(独)中小企業基盤整備機構	・「貸出条件変更」先に対して、新たに経営改善計画策定支援を実施した先は １５先 ・平成 26 年 3 月 31 日までに、経営改善・再生計画等（簡易なものは除く）の策定支援は、累計で 78 先。 ・外部専門家の知見活用 ９先 ・各ネットワークの活用 ９先 「ひだかしんきん地域支援ネットワーク」 「北海道中小企業支援ネットワーク」
(４) 事業再生や業種転換が必要な企業への支援			
取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
・長年の取引の中で培ってきた信頼関係に基づく安定した取引関係を継続し、外部機関、専門家との連携のもとで、事業の再構築・事業再生に向けた様々な課題を共有し、課題の改善策・解決策の検討などが行えるよう、普段から経営者とのコミュニケーションを深めていく。	・金融円滑化法の終了後も、取引先からの貸付条件の変更等の相談に対し、真摯に取組み、事業継続に向け慎重かつ十分な検討を行う。 ・営業店は、取引先と事業の課題点を共有し、本部担当課、外部機関等とタイアップして、事業再生方策の策定を行う。 ・事業再生支援機能の補完として、中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断協会等外部機関等に支援を要請する。	・中小企業再生支援協議会 ・北海道中小企業早期再生協議会 ・(社)中小企業診断協会 ・北海道経済産業局 (ビジネス創造等支援事業) ・(独)中小企業基盤整備機構	・中小企業再生支援協議会を活用した事業再生支援はなかった。 ・事業再生支援には、継続した取組みを実施し、中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業を活用した外部専門家と連携した支援に取り組んでいる。

(5) 事業の維持可能性が見込まれない企業への支援			
取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
事業の存続がいたずらに長引くことで、かえって経営者の生活再建や取引企業の取引先の事業等に悪影響が見込まれる先等へ解決策の検討などが行えるよう、普段から経営者とのコミュニケーションを深めていく。	「ひだかしんきん地域支援ネットワーク」等を活用し、関係する他の金融機関や関係機関等と連携を行うための会議を開催するなど十分連携・協力を図り、事業継続に向け慎重かつ十分な検討を行う。 - その上で、債務整理を前提とした取引先の再起に向けた適切な助言や取引先が自主廃業を選択する場合の取引先対応等を含めた円滑な処理等への協力を行う。	- 商工会議所、商工会 - 弁護士 - 司法書士 - 税理士	「ひだかしんきん地域支援ネットワーク」等を活用した債務整理や自主廃業等を選択する取引先はなかった。
(6) 事業承継が必要な企業への支援			
取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
後継者等が不在の先へは、M&Aを基本とした、譲り受け企業や資産購入者等の情報提供に努める。	- 外部機関の「事業承継出張個別相談」等の積極的利用により、円滑な事業承継を支援する。 - M&Aに関してニーズのある取引先について、「信金M&A情報ネットワーク」を利用し、積極的に推進していく。また、M&Aに関する情報については、引き続き営業店へ還元していく。	(独)中小企業基盤整備機構（事業承継円滑化支援事業） - 北海道経済産業局（ビジネス創造等支援事業） - 信金キャピタル(株)（信金M&A情報ネットワーク）	- 事業承継に関する相談実績はなかった。 - M&Aに関する情報は、毎月営業店へ還元し推進を図っているが、取扱実績はなかった。

2. コンサルティング機能の強化

取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
認定経営革新等支援機関としてより専門知識を有した人材の育成を行う。	- 上部機関や外部機関などが実施する研修会には渉外、融資担当者を積極的に参加させる。また、参加者が講師となり伝達講習会を開催する。 - 当金庫と業務提携している外部機関のノウハウを活用し、営業店へ情報の提供を行う。 「経営改善・事業再生スキル実践研修」への派遣を行い経営改善策定支援に対するスキルアップを図る。 - 営業店担当者の事業再生支援に対する能力向上に努めるため、集合研修の実施及び営業店訪問による個別指導を実施する。	- 信金中央金庫 - 全国信用金庫協会 - 北海道信用金庫協会 (社)中小企業診断協会 - 北海道経済産業局 (ビジネス創造等支援事業) (独)中小企業基盤整備機構	- 上部機関が開催した研修会への参加。 「企業再生支援講座」 1名 「目利き力養成講座」 2名 「貸出審査能力養成講座」 2名 - 外部機関が開催した研修会への参加 「高度実践型研修」 (創業・技術・知財活用支援) 1名 - 外部講師による内部研修の実施 講座内容「財務諸表分析」・「キャッシュフロー分析」27名参加した。 - 営業店へは4半期毎に訪問し、個別指導を実施した。

3. 地域の面的再生への積極的な参画

取組方針	具体的取組策	連携外部機関	進捗状況
地域・地元企業の再生、持続的な発展のためには、「個」の事業再生に加え、官民連携による「輪」としての対策が必要となる。当金庫は地元企業、地域住民、地公体、商工・事業団体などと連携を密にし、地域の特性、地域の人財を最大限活かした施策遂行のための「場」の一員として協力していく。	【地域交流会の開催】 - 役場、商工会議所、商工会のほか、他金融機関を地域交流会メンバーに加え、本会の拡充を図っていく。 - 各地区の実情を踏まえた交流会にすべく、柔軟性をもった開催を複数回実施する。また、各「地域交流会」間の情報の共有化のため、当金庫が主体的に係わっていく。 【包括連携協定事業】 - 日高振興局との包括連携協定事業の色々な取組みを継続して行っていく。	- 北海道日高振興局 (包括連携協定事業) - 各町役場 - 各町商工会議所、商工会	地域交流会の開催(8回開催) 各町の役場、商工会、漁業組合等の参加を頂き全町において開催した。

4. 地域貢献活動（環境問題への対応、金融経済教育の推進、創立90周年地域貢献継続事業）

取組方針	具体的取組策	進捗状況
【環境問題への対応】 - 企業の社会的責任(CSR)のひとつとして、環境問題への取組みがより重要視されている。環境問題に積極的に取組むため、今後も環境面に配慮した業務展開を行っていく。 【金融経済教育の推進】 - 次代を担う世代や一般的に金融犯罪の標的になりやすい高齢者に対し、金融教育を行っていくことは、新たな多重債務者の未然防止や金融犯罪に係る金融知識の普及により、当金庫の事業基盤の持続可能性を高めていく。 【創立90周年地域貢献継続事業】 - 地域に対して、今日までのご愛顧に感謝の意を表し、継続的な地域貢献事業を行っていく。	【環境問題への対応】 「電力使用量」前年比マイナス3%削減に向け、LED照明の導入など現状可能な施策をもって更なる節電に努めるとともに、職員の意識向上を図る。 - 当金庫の年間カレンダーは、平成24年度と同様に「植物油インキ」と古紙配合率100%の再生紙利用による、環境配慮用紙の使用を進める。 - 住宅ローンの優遇金利適用条件として、道産材使用、太陽光発電など、環境に配慮した項目を追加し推進していく。 【金融経済教育の推進】 - 管内の教育機関からのインターンシップ要請に対して積極的に対応すると共に、小・中・高校へ金融経済教育に関する授業等の引受をPRする。 - 高齢者の金融教育は、しんきん友の会総会実施時などの機会を利用して、「振り込め詐欺」などの金融犯罪被害にあわないよう注意を促していく。 【環境整備事業】 - 環境保護を目的に、当金庫営業エリア(広尾町～新ひだか町)にかけて植樹を実施する。 【社会福祉事業】 - 社会福祉を目的に、当金庫営業エリア(広尾町～新ひだか町)の福祉施設等へ車椅子を寄贈する。 【青少年育成事業】 - 青少年の健全な育成を目的に、少年野球大会、少年サッカー大会を開催する。 【学生モニター制度】 - 学生モニターからの当金庫に対する客観的な意見等を業務遂行の参考としていく。 【社会奉仕事業】 - 地域清掃活動や作品展開催等ボランティア活動を積極的に推進していく。	- 前年度に引き続き、全店的に照明の間引きやえりも支店のLED照明の導入など、徹底的な節電を行った結果、電気使用量で△11.6%(62,075Kwh)電気料金で対前年比△0.40(△48千円)の効果が出ている。 - 年間カレンダーで「植物油インキ」と古紙配合率100%の再生紙の利用、ディスクロージャー誌でも「植物油インキ」と再生紙を利用し環境配慮用紙の利用を進めた。 - インターンシップ7/3-7/4(えりも高校2名)9/26-9/27(静内高校4名)実施。金融教育の一環として、7/17企業面接指導(静内高校4名)、11/21進路研究会講演(浦河高校47名)実施。小・中学校に対する金融教育実施はなし。 - しんきん友の会行事の都度「振り込め詐欺」について注意喚起がされた。 - 各町へ4月～5月に桜、ツツジ等寄贈した。 - 老人福祉施設等へ車椅子6台、福祉センターへプロジェクトスクリーン1台、生活支援ハウスへホームペカリー2台・クイックシェード2個を寄贈した。 5月4日～5日 少年サッカー大会を新ひだか町静内にて開催 9月7日～8日 少年野球大会を様似町にて開催した。 - 学生モニターのレポート報告は3回実施。26.3.12に報告会を開催し5

		名が参加、金庫業務を含む地元に対する意見交換を行う。 ・各町にて清掃活動（30回）祭り等の手伝い（7回）実施した。 ・本店において作品展（絵画等）を開催した。
--	--	---

地域密着型金融推進計画の基礎となる態勢

1. コンプライアンス態勢

- ・ コンプライアンスは経営の最重要課題のひとつであり、地域からの信頼確保のために、単なる法令等遵守にとどまらず、社会人としての健全な常識や高い倫理観の醸成を目的に、今後も磐石な内部統制及び内部管理態勢の更なる整備を進めるとともに、研修、自己評価制度の活用などを含め職員教育を徹底するなど、法令等遵守の更なる実効性の向上を図っていく。

2. 顧客保護態勢

- ・ 金融行政における利用者重視、保険商品の窓販解禁など規制緩和の大きな流れを背景に、顧客保護態勢の強化が求められている。期限到来となった「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき、経営相談・経営指導等をはじめとした金融円滑化の観点から、これまで同様に十分な顧客説明態勢の構築が求められている。これまでもお客様からの苦情を一元管理して業務運営に反映させていくべく努めてきたが、更に苦情処理体制の整備・強化を図っていく。

3. 金融円滑化態勢

- ・ 信用金庫の最も重要な役割の一つである地域金融の円滑化に資するため、金融円滑化管理に関する組織体制や権限及び役割、方法を定め、適切なリスク管理体制の下、この使命を果たしていくこととしている。また、お客様の期待、ニーズに responding していくため、必要に応じ外部機関と連携して、コンサルティング機能を発揮していく。

以 上

本計画に関するご意見、ご感想がございましたら下記にご連絡頂ければ幸いです。

日高信用金庫 経営管理部 経営企画課

住所：〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

電話：0146-22-4112 Fax：0146-22-0994

URL：<http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

